

# TDU Agora



## 工学部第二部 実践知重点課程フォーラム

～大学における企業人教育を考える～ ……1

### CONTENTS

今月の顔 矢口博之准教授 (理工学部 情報システムデザイン学系) … 2	キャンパスよもやま情報 …… 6
キラリ★電大生 東京千住キャンパス 硬式庭球部 …… 3	News …… 7
TDU LABO 建築設計研究室 (未来科学部 建築学科) …… 4	Information …… 11
TOPICS …… 5	



実践 概要

- 社会人課程 (実践知重点課程) 設置の経緯と実践知重点科目の設計
- 企業技術者の学びに向けたメニュー化
- 改編「前/後」における「違い」の「見える化」
- まとめ

特集

## 工学部第二部 実践知重点課程フォーラム ～大学における企業人教育を考える～ 東京千住キャンパス事務部

本年度、工学部第二部では企業人教育の充実のため、社会人課程(実践知重点課程)を開設しました。あわせて、「働きながら学びたい」企業人により学びやすい場を提供するため、実践知プログラム(履修証明制度)、機械分野の授業15回の聴講、公開科目、1科目履修等、短期のプログラムを開講しました。去る1月26日にはフォーラムを開催し、この1年間を総括するとともに、企業の人材育成において、都内で唯一の夜間私立工科系学部である本学部に求められることについて意見交換を行いました。

安田浩学長の挨拶の後、佐藤太一工学部第二部長より本課程の教育の特徴について説明があり、「前年度に比べ、実務家教員担当科目が40%増、アクティブラーニング科目が35%増、分野横断科目は0から9科目」と右肩上がりの数字に、参加者も1年の成果に納得の表情でした。

受講者参加型のミニ講義「応用失敗学」では、実際に起こったエスカレーター逆走事故が題材でした。事故当時の映像、マスコミ報道、事故調査委員会の報告書をもとに、担当の寿楽浩太准教授、藤田聡教授の軽快なやりとりの後、「さて、事故の本当の原因は何?対応策は?」の問題提起があり、全員がワークシートに向



ミニ講義のグループワークで意見交換する社会人学生

かって真剣そのもの。学生・教員・事務職員の3グループによるプレゼンテーションに対して、「それはどうして?」、「だとしたら、どうする?」という先生方の鋭いツッコミに会場は笑いに包まれ、発表者の窮地に陥りつつも巧妙な返答に拍手が起きました。ぜひ本当の授業を受けたいとの声も聞かれ、本課程の楽しさを実感できた1時間でした。

最後に、「実践知教育に期待する」をテーマに、佐藤工学部第二部長の司会のもと、企業代表の駒野目裕久氏(池上通信機株式会社)、日座和典氏(株式会社日立製作所)、社会人学生代表の岡田光央さん、三上英司さん、教員代表の清水康夫教授によるパネルディスカッションが行われました。企業人に求められる能力は何か、働く現場では授業で得られたことがどのように活かされるか等、貴重な意見交換の時間となりました。



佐藤工学部第二部長から本課程の教育の特徴について説明



寿楽准教授によるミニ講義



パネルディスカッションで発言する社会人学生代表の三上さん

当日は、約80名の方にご参加いただき、企業人教育に対するこれからの大学教育の可能性を実感したフォーラムとなりました。ご参加いただきました皆様及びご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。